

プログラムの
ねらい

- 児童生徒が仲間を褒めたり、認めたりする際のポイントを身に付けるよう支える。
- 教員が仲間同士で褒め合う、認め合う機会を意図的に設定することで、児童生徒が自分の気持ちや考えを堂々と述べるができる、安心感の高い集団へと成長することを支える。

児童生徒の発達を
「ささえーる」
ポイント

- ②-2 「仲間同士で褒める・認める言葉集」等を提供し、児童生徒同士の絆づくりを促す。

児童生徒が温かい褒め言葉や認める言葉を贈り合う
学級・学年・学校を目指して

- 言葉掛けの種類やパターンを知る
- 実践していくために意識を高める

知る・意識を高める

「仲間同士で褒める・認める言葉集」を児童生徒が多く目にする環境をつくる。

例えば・・・

- ①年度初めに全員に配布し、日誌など毎日目を通すものに貼らせる。
- ②教室、廊下、児童生徒用トイレなどに掲示する。
- ③学級通信等で保護者にも周知し、共通理解を図る。

言葉集の6つのポイントを
意識しながら、様々な場面で
褒める言葉・認める言葉を贈り合う

様々な場面で実践する

【言葉を贈り合う場面を意図的に設定】

例①：行事の振り返りの場面

例②：帰りの会の活動プログラムに設定

言葉掛けのポイントを身に付け、仲間との関わり方を体得していく。

「仲間同士で褒める・認める言葉集」作成の経緯

【児童生徒アンケートからの分析】

「仲間からもらった言葉で、どんな言葉がうれしかったですか」という質問に対する児童生徒の回答

【具体的な言葉】 ※一部抜粋

- いつも元気に挨拶していたね
- 昨日よりも良くなっている
- 話合いで頼りになる
- 班長としてみんなをまとめていた
- 話合い活動で、話をまとめてくれてありがとう
- 挙手や発表が積極的でよかった
- 前より頑張ろうとする姿勢がよい
- いつもクラスの雰囲気をよくしてくれる
- 中心となって活動していた
- たくさんよい意見を出して、発表も頑張っていたね

【場面】

- 自分が気付いていなかったよい所を教えてもらったとき
- 自分が特に頑張ったことを認めてくれた言葉



整理・分類すると・・・

- 自分の具体的な行動を褒め（認め）られた
- 過去の自分よりも頑張ったことを褒め（認め）られた
- 自分の姿勢や態度など、内面的なことを褒め（認め）られた
- 感謝の言葉など、人の役に立ったと実感できた
- 自分が特に頑張った点や、自信があるところを褒め（認め）られた
- 自分が役割をやり遂げたことを褒め（認め）られた



ポイントを整理したものが

「仲間同士で褒める・認める言葉集」

仲間が喜ぶほめる言葉・みとめる言葉

○仲間の具体的な行動をほめよう、みとめよう

「いつも元気にあいさつしていたね」「積極的に手を挙げたり発表したりしていたね」
「算数の授業で友達に教えてあげていたね」

○仲間のし勢や態度など、内面的な所にも目を向けてほめよう、みとめよう

「いつも話合いのときにたよりにしているよ」「いつもクラスのふん囲気をよくしてくれるね」「話合いのとき、相づちをしてくれるから話しやすいよ」

○仲間が役わりをやりとげた部分もほめよう、みとめよう

「はん長として、はんをまとめていたね」「学級委員として、中心になって活動していたね」

○仲間が特にがんばっていた点や、自信があるところをほめよう、みとめよう

「合唱のとき、音を合わせようと努力していたこと、気付いていたよ」
「やっぱり〇〇さんの、足の速さにはびっくりしたよ」

○仲間の成長、努力の過程に目を向けてほめよう、みとめよう

「きのうよりもよくなっているね」「前よりもがんばろうとするし勢がいいね」
「授業中の集中力が高くなったね」

○感謝の言葉をプラスしてみよう

「〇〇してくれてありがとう」「〇〇してくれてうれしかったよ」
「〇〇してくれて救われたよ」

じどうのみなさんへ

- ①仲間をほめる・みとめるときのポイントをつかもう！！
- ②グループやペアで活動するときには、意識してほめる言葉・みとめる言葉を使ってみよう！！
- ③温かい言葉が飛び交い、安心して生活できる学級・学年・学校に自分たちの力でしていこう！！

仲間が喜ぶ褒める言葉・認める言葉

○仲間の具体的な行動を褒めよう、認めよう

「いつも元気にあいさつしていたね」「積極的に手を挙げたり発表したりしていたね」
「算数の授業で友達に教えてあげていたね」

○仲間の姿勢や態度など、内面的な所にも目を向けて褒めよう、認めよう

「いつも話合いのときに頼りにしているよ」「いつもクラスの雰囲気をよくしてくれるね」
「話合いのとき、相づちをしてくれるから話しやすいよ」

○仲間が役割をやり遂げた部分も褒めよう、認めよう

「班長として、班をまとめていたね」「学級委員として、中心になって活動していたね」

○仲間が特に頑張っていた点や、自信があるところを褒めよう、認めよう

「合唱のとき、音を合わせようと努力していたこと、気付いていたよ」
「やっぱり〇〇さんの、足の速さにはびっくりしたよ」

○仲間の成長、努力の過程に目を向けて褒めよう、認めよう

「昨日よりも良くなっているね」「前よりも頑張ろうとする姿勢がいいね」
「授業中の集中力が高くなったね」

○感謝の言葉をプラスしてみよう

「〇〇してくれてありがとう」「〇〇してくれてうれしかったよ」
「〇〇してくれて救われたよ」

生徒のみなさんへ

- ①仲間を褒める・認めるときのポイントをつかもう！！
- ②グループやペアで活動するときには、意識して褒める言葉・認める言葉を使ってみよう！！
- ③温かい言葉が飛び交い、安心して生活できる学級・学年・学校に自分たちの力でしていこう！！